

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）info@jhu-wing.main.jp<https://jhu-wing.main.jp/>

第3回 交渉（拡大事務折衝）報告 その4

11月22日の会社交渉では

統一要求 (1) ①「原職復帰」と (3)「円満解決」に関する要求を議論**次回交渉では客室乗務員の「原職復帰」「円満解決」を含む****統一要求の全ての項目について解決交渉を行い****解雇争議の全体的な早期解決を目指します！！****<次回交渉の早期設定を！客室乗務員の要求にも答えよ！！>**

【JHU 組合員】一点確認させて頂きたい。今日の交渉では客室乗務員については、CCUに二重加盟のことも確認してからにして欲しい、具体的な話はできないということだった。今日で解雇されてから10年10か月と22日目だ。私は当時52才11か月だった。それから11回誕生日を迎えている。客室乗務員についての話も早急に進めて頂きたい。次の団交はいつやるのか。

《会社》これが終わったらきちんと連絡を取り合っ
て決めたいと思う。

【JHU 組合員】超早で願います。毎日、年とっ
ていく。今ならまだ63才だ。年齢に拘らず原
職復帰させるべきだと思っている。私たち争

議をしている者の一日一日の思いを伝えたか
った。

【JHU 委員長】私から一言。破綻前の2009年に
タスクフォースの報告書が当時の国交大臣に
あげられた。その中で、日本航空の体質とい
うことで、お上志向、セクショナリズム、先送り
主義、そして無責任体質が指摘されている。こ
の11年間のJALの対応を見ていると、これ
がそのまま今日まで続いている。これを換え
ていかないと日本航空は真の再生はできない。
早急に次回の団交をセットして、広い場所
でやって欲しい。合わせて役員の出席を要求
して交渉を終わる。

以上

今後のJHU活動予定：12月17日（金）

都労委第4回調査（10:30~）